

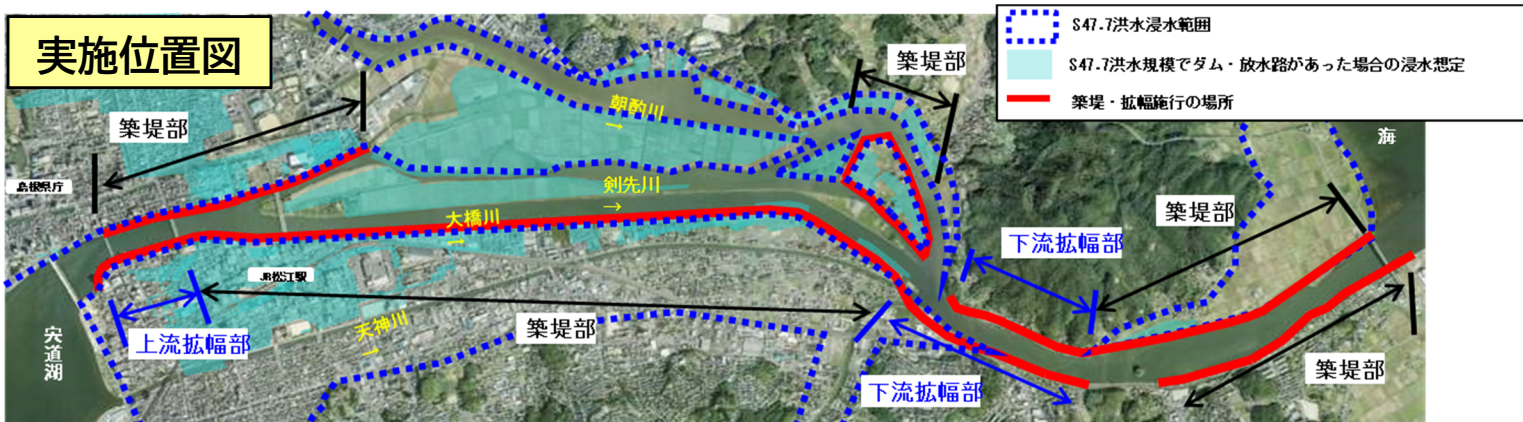
斐伊川水系流域治水プロジェクト取組み事例集

令和4年3月23日

斐伊川流域治水協議会

- 大橋川沿川は堤防が未整備の区間があるとともに、上下流の2箇所狭窄部を抱えるため、戦後最大の浸水被害が発生した昭和47年7月豪雨や平成18年7月豪雨により、松江市の中心市街地が浸水する等被害が発生した。このため、堤防整備、河道拡幅等を実施し、早期に地域の安全性の向上を図る。
- 中海においては、高潮による浸水被害を防止軽減するために、湖岸堤の整備を実施している。

大橋川改修



実施状況



地盤改良工事(東本町地区)



堤防整備(福富地区)

中海湖岸堤整備

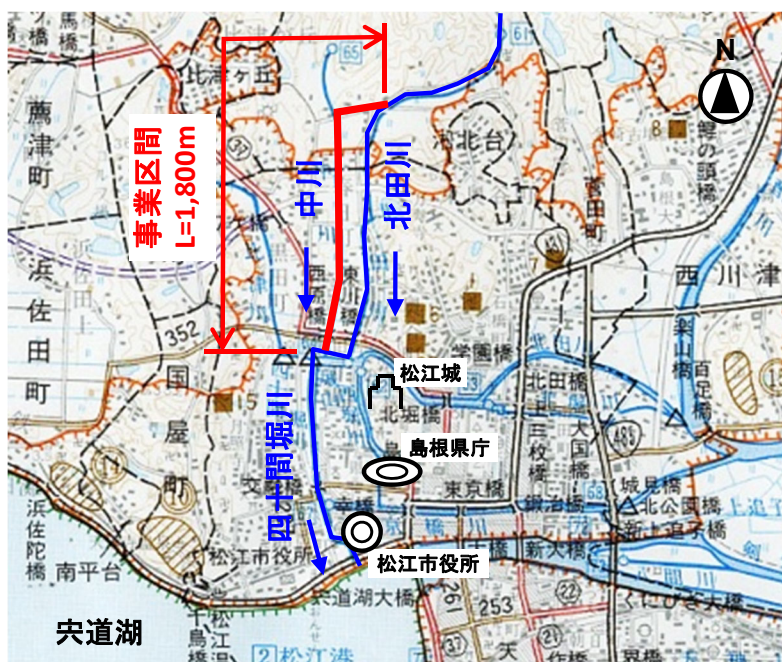


今後のスケジュール

短期	中長期
大橋川狭窄部の拡幅(下流)	大橋川狭窄部の拡幅(上流)
中海湖岸堤整備(短中期箇所)	中海湖岸堤整備(中期箇所)

- 中川は松江城の北に位置し、南に流下しながら松江堀川に注ぐ河川延長1.8kmの一級河川である。沿川には家屋が連担しており、河道が狭小なため頻繁に浸水被害が発生している。
- 河川の拡幅、河床の掘削、堤防の築造、橋梁等の改築により流下能力が向上し、昭和47年7月洪水と同規模の洪水に対して、沿川の浸水被害解消を図る。

実施位置図



実施状況

【令和3年度実施状況】

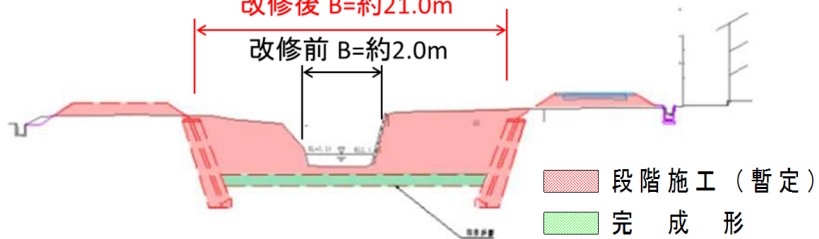
護岸工 L=220m、設計業務 1式、用地補償 1式



標準横断図

改修後 B=約21.0m

改修前 B=約2.0m



今後のスケジュール

短期	中長期
河道拡幅・河道掘削・(短期・中長期箇所)	

- 近年の計画規模を上回る集中豪雨の多発をふまえ、地域の安全・安心で快適な生活環境の実現を目指し内水を排除するための雨水ポンプ場の整備や雨水函渠整備を関連事業と調整し実施。

雨水函渠整備(松江市)



宍道地区の整備状況

雨水函渠整備(安来市)



浦ヶ部地区の整備状況

雨水ポンプ場整備(境港市)



渡漁港の整備状況 (R4完成予定)

今後のスケジュール

短期	中長期
<div style="background-color: red; color: white; padding: 5px; display: inline-block;"> 雨水ポンプ場整備(境港市)、雨水函渠整備(境港市・松江市・安来市) </div>	

- 浸水被害防止のため、流域調査を行った結果、流末となる普通河川(鉄道南側川)の河川断面を拡幅する必要があり、令和元年度より拡幅工事を進めている。

実施位置図



実施状況



改良前

■進捗状況

令和元年度から最下流の河川断面を拡幅し、令和2年度時点でおおよそ中間地点まで拡幅が完了。現在、令和3年度工区に着手。



改良後

■対策効果等

令和3年7月豪雨において、浸水の被害は確認されなかった。

今後のスケジュール

短期	中長期
河道拡幅・河道掘削 (R3完了)	

- 農業生産性の向上及び排水能力向上のため、宍道湖ならびに中海沿いに位置する排水機場の改修工事を実施。

排水機場の改修(中国四国農政局)

沖の島排水機場



論田川排水機場



揖屋排水機場



排水機場の改修(島根県)

西潟ノ内地区排水機場



排水機場建屋建設状況

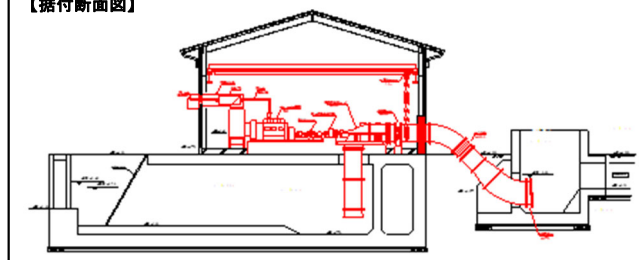
【主な整備内容】

- ・ 排水ポンプφ1000mm 2基

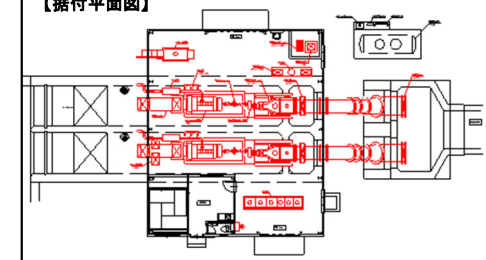
【令和3年度主な実施状況】

- ・ 排水機場建屋工事
- ・ 排水ポンプ整備工事

【据付断面図】



【据付平面図】



今後のスケジュール

短期	中長期
農業水利施設の整備、排水機場の更新・改修等	

- 治山対策として、渓床を安定させ、土砂の流出抑制や流木の流出拡大防止のための、治山ダム等の設置を実施。
- 森林整備として、土砂流出抑制効果が高く森林の浸透能の向上に資する下層植生が豊かとなるような、皆伐や間伐などを組み合わせ実施。
- 水源林造成事業として、奥地水源地域の民有保有林を対象に、森林土壌等の保水力強化のため、除間伐の森林整備の支援を実施。

治山ダムの設置(島根県)



流木補足施設



間伐

- 治山ダム 4基
 - ・流木補足式治山ダム 1基
(土砂流出抑制効果の発揮)
- 森林整備
(県、林業公社、市町、森林組合、林業事業体)
間伐等の森林整備を実施・森林整備 602ha

森林整備(近畿中国森林管理局)



- 森林整備
 - ・誘導伐(皆伐)2.67ha
 - ・保育間伐(活用地型)5.62ha
 - ・保育間伐(存地型)2.81ha
 - ・植付2.67ha
(スギ4520本、ヒノキ861本)

森林整備(森林研究・整備機構森林整備センター)



除伐

- 森林整備
(除間伐等の森林整備を実施)
- ・対象地: 49箇所
428ha



間伐

今後のスケジュール

短期	中長期
流域内(国有林整備、水源林整備、保安林整備、造林事業)	

- 近年、気候変動の影響等により自然災害が頻発・激甚化しており、令和2年6月に「都市再生特別措置法等の一部を改正する法律」が成立し、災害ハザードエリアにおける開発抑制、移転の促進、立地適正化計画の強化(防災指針の作成ほか)など、安全なまちづくりのための総合的な対策を講じることとされ、その対策の一つとしての居住誘導区域内で行う防災対策・安全確保策を定める「防災指針」の作成等に取り組んでいる。

松江市の計画のイメージ

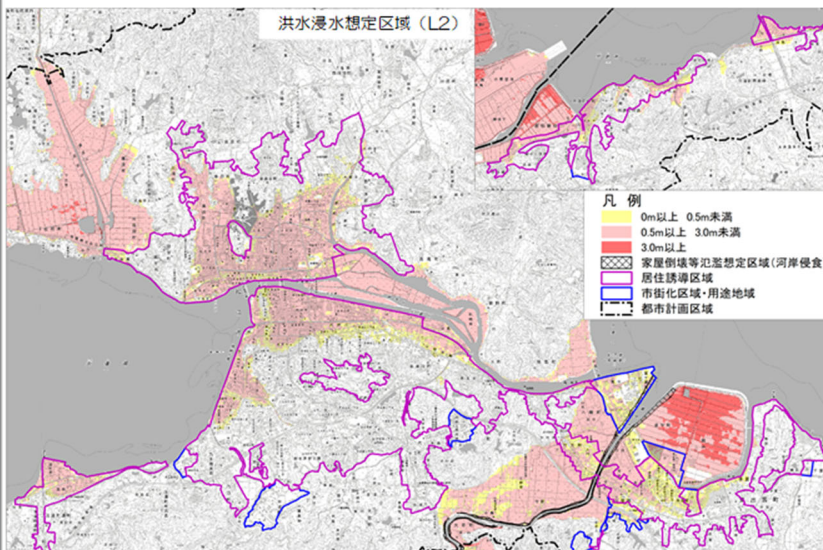
松江市においては、平成31年3月に「松江市立地適正化計画」を策定し、持続可能な都市構造の形成を目指してきたところであるが、令和2年の「都市再生特別措置法」の改正を受け、『防災指針』を作成し、立地適正化計画に反映することとした。

【立地適正化計画】

- 第1章 立地適正化計画の策定に当たって
- 第2章 松江市の現状と課題
- 第3章 基本的な方針
- 第4章 居住誘導区域
- 第5章 都市機能誘導区域
- 第6章 公共交通
- 第8章 数値目標の設定と進捗管理

第7章 防災指針

1. 防災指針の概要
 - (1) 背景と目的
 - (2) 防災指針のイメージ
 - (3) 防災指針の構成等
2. 災害リスクの分析
 - (1) 本市のハザード区域等（マクロ分析）
 - (2) 災害リスクの分析（ミクロ分析、課題抽出、見える化）
3. 防災まちづくりの将来像と方針
 - (1) 防災まちづくりの将来像
 - (2) 防災まちづくりの取組方針
4. 防災まちづくりの取組
 - (1) 防災まちづくりの対策とスケジュール
 - (2) 防災まちづくりの対策の概要
 - (3) 防災まちづくりの目標



本市居住誘導区域においては、水災害(洪水浸水想定区域、家屋倒壊等氾濫想定区域【河岸浸食】)と土砂災害(土砂災害特別警戒区域等)によるリスクの分析を行い、ハザードエリアと高齢化率や都市情報等を重ね合わせ、課題を抽出。
その後、災害リスクの課題を踏まえ、防災まちづくりの将来像及び取組方針を設定し、その実現に向けた具体的な対策やスケジュール等を定める。

まちづくりの基本理念

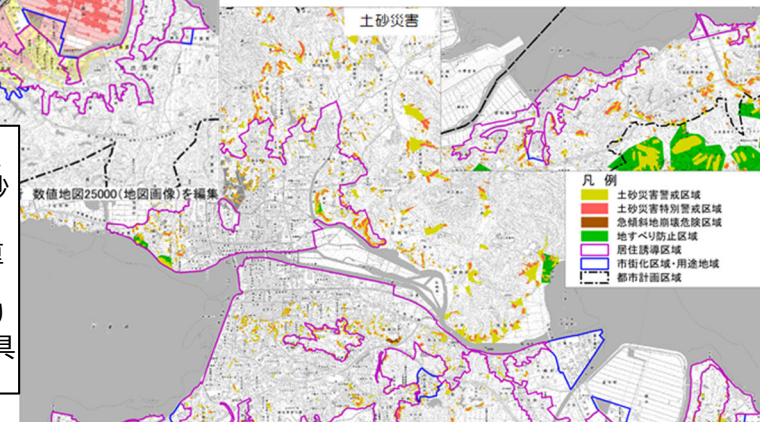
定住と交流による活力あるまちづくり

—豊かな自然や水辺を大切にした歴史まちづくりの推進—

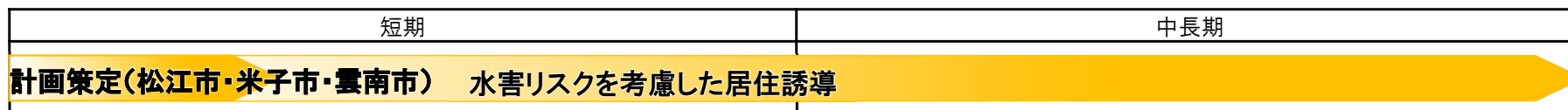


防災まちづくりの将来像

災害に強いまちづくり



今後のスケジュール



- 防災学習、出前講座等により、地域住民や企業等へ水害に対する意識啓発を行い、防災意識を高める取り組みを行っている。

実施状況

「避難所運営ゲーム(HUG)の実施」



「新型コロナウイルス感染症対策をふまえた避難訓練」



「出前講座の実施」



「防災学習の支援」



「防災研修」



マイ・タイムライン講習会



今後のスケジュール



- 地域の防災マップづくりの、意義やノウハウを学ぶためのインストラクターの養成研修や要配慮者利用施設への出前講座を通じて、避難確保計画の作成や訓練への助言を行っている。

実施状況

支え愛マップづくり等の取組(鳥取県)

支え愛マップ作成状況



救急救命が必要な場合を見越しての訓練状況



出前講座の実施(要配慮者利用施設)(島根県)



支え愛マップ完成



出前講座(米子市)



今後のスケジュール

